

## USBクレードル

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

- 警告**　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### CSC-FA


© 2003 Sony Corporation Printed in Japan

http://www.sony.co.jp/	
<b>eco info</b>	この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油性インキを使用しています。

### 主な特長

- 本機とDSC-F77Aを接続することにより、USB接続およびAV出力することができます。
- DSC-F77AとACパワーアダプター（AC-LM5）を本機に接続することにより、DSC-F77A内部にあるバッテリーを本体内充電することができます。
- 本機は、DSC-F77/FX77にもご使用いただけます。

### 商標について

- “Memory Stick”(“メモリースティック”)およびはソニー株式会社の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

<b>お問い合わせ窓口のご案内</b>	<p>テクニカルインフォメーションセンター ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。</p> <p>製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。</p>
電話のおかけ間違いにご注意ください。	<p>電話：0564-62-4979</p> <p>受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）</p> <p>お電話される際に、本機の型名（CSC-FA）をお知らせください。より迅速な対応が可能になります。</p>

<p>ソニー株式会社</p>	<p>〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35</p>
----------------	----------------------------------

#### 警告 安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る**
- 故障したら使わずに、テクニカルインフォメーションセンターまでご連絡ください。**
- 万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は	<span>➡</span>	<ol style="list-style-type: none"><li>デジタルスチルカメラの電源を切る</li> <li>ACパワーアダプターをコンセントから抜く</li> <li>デジタルスチルカメラを本機からははずす</li> <li>テクニカルインフォメーションセンターまでご連絡ください</li></ol>
-----------------	----------------	--

<b>警告表示の意味</b>		
この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。		
<span>警告</span>	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。	
<span>注意</span>	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	
注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
<span>火災</span> <span>感電</span>	<span>禁止</span> <span>分解禁止</span> <span>接触禁止</span>	<span>プラグをコンセントから抜く</span> <span>指示</span>

#### 警告 下記の注意事項を守らないと、

#### 火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。
内部の点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この製品は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにデジタルスチルカメラ本体のスイッチを切り、本機からははずしてください。ACパワーアダプターもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

雷が鳴りだしたら、使用しない
雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにご使用を中止してください。

#### 注意 下記の注意事項を守らないと、

#### けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所では使わない
上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

指定以外のACパワーアダプターを使わない
火災やけがの原因となることがあります。

ぬれた手で本機をさわらない
感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす
長期間使用しないときは電源コードをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

乳幼児の手の届かないところで使用／保管する
ケガ、感電、故障の原因になります。

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたり、不安定な状態で設置すると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する
電源コードやUSBケーブル、A/V接続ケーブルなどは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

本機を布団などでおおった状態で使わない
熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

### 使用上のご注意

### 使用上のご注意

### 使用上のご注意

置いてはいけない場所
使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

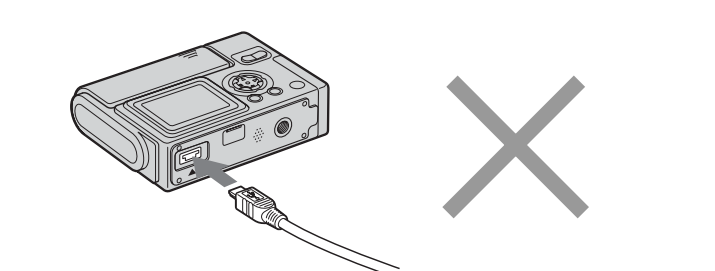
- 異常に高温になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
変形したり故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ほこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ほこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になることがあります。

使用について

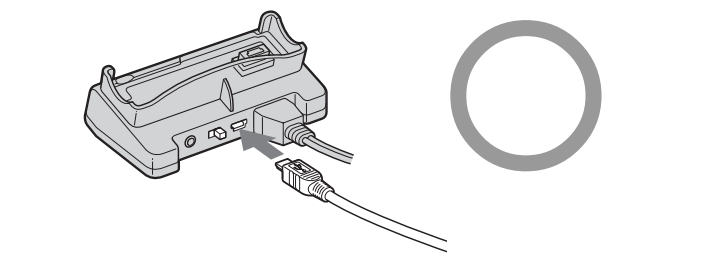
- 強力な電波を出ところや放射線のある場所で使わない
正しく再生できないことがあります。

### 取り扱い上のご注意

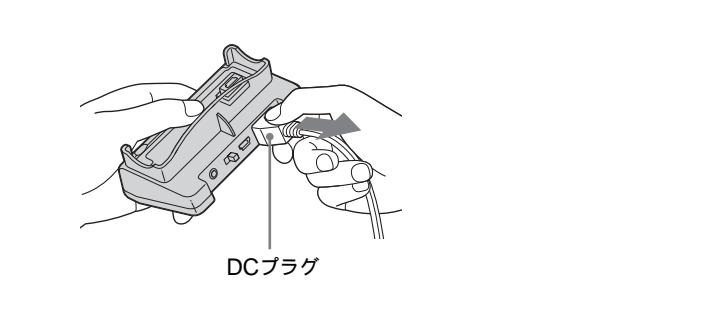
- 付属のUSBケーブルをデジタルスチルカメラ底面のマルチ接続端子に挿入しないでください。マルチ接続端子が破損することがあります。



- USBケーブルは本機の後面にあるUSB端子に正しく挿入してお使いください。



- ACパワーアダプターを本機から抜くときは、図のようにDCプラグと本機を持って取りはずしてください。



- ケーブルをもってコネクタの抜き差しをしないでください。
- ケーブルを折り曲げたり、無理な力を加えないでください。

充電について
電池の性能を充分に発揮させるには、10～30 での充電をおすすめします。

### お手入れのしかた

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

### 内容物と主な仕様

USBクレードル（CSC-FA）	
• 本体（UC-FAⅩ1個）	
入出力端子	A/V OUT（MONO）端子（モノラル）ミニジャック
映像*	1Vp-p、75 不平衡、同期負
音声*	327mV（47k 負荷時）出力インピーダンス2.2k
	*DSC-F77A接続時
USB端子	mini-B
DC IN端子	26pinマルチコネクタ（ソケット）
カメラ接続端子	26pinマルチコネクタ（プラグ）
一般	
外形寸法	約97×12×54mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約47g
動作温度	0 ～+40
保存温度	-20 ～+60

- A/V接続ケーブル（1本）
- USBケーブル（1本）
- 取扱説明書（1部）
- 保証書（1部）

バッテリー、ACパワーアダプターおよび“メモリースティック”などは、付属しておりません。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

### 保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません
万一、USBクレードルなどの不具合により記録や再生がなされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

<b>保証書</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。</li> <li>所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。</li> <li>保証期間は、お買い上げ日より1年間です。</li></ul>

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

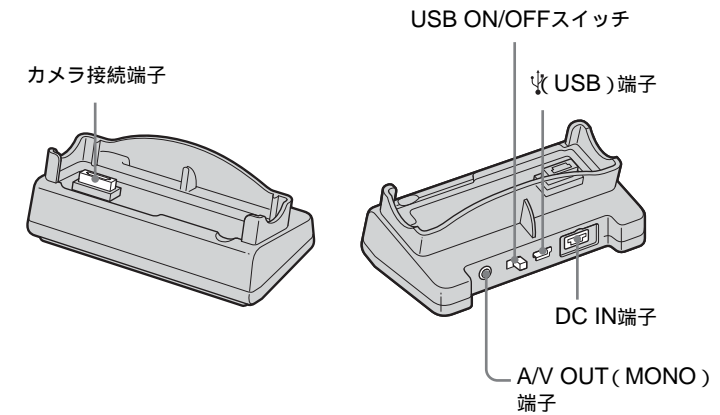
それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社ではUSBクレードルの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
• 型名：CSC-FA
• 故障の状態：できるだけ詳しく
• お買い上げ日

## 各部のなまえ

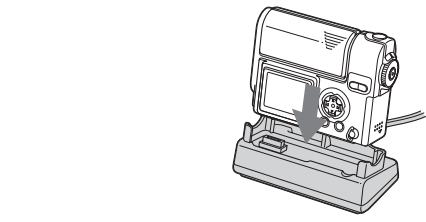


## お使いになる前に

本機は、DSC-F77A専用のクレードル\*です。本取扱説明書とあわせて、DSC-F77Aの取扱説明書をご確認ください。  
\*本機はDSC-F77/FX77にもご使用いただけます。

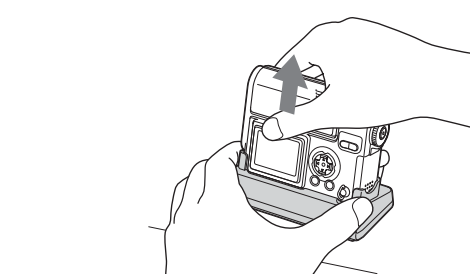
## デジタルスチルカメラを取り付ける / 取りはずす

取り付ける  
図の向きにデジタルスチルカメラを取り付けてください。



- デジタルスチルカメラを奥まで確実に入れてください。

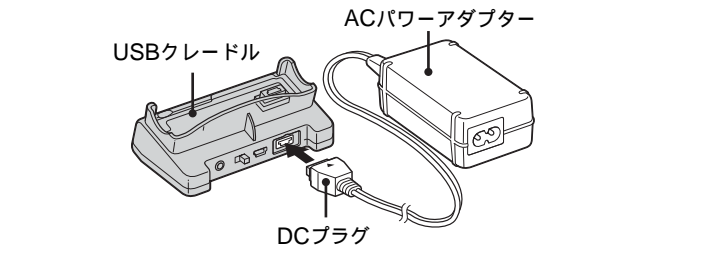
取りはずす  
レンズ部を下向きにして、図のようにデジタルスチルカメラと本機を持って取りはずしてください。



- デジタルスチルカメラを本機に取り付ける / 取りはずすときは、必ずデジタルスチルカメラの電源を切ってください。
- USB接続中は、本機のUSB ON/OFFスイッチを切り換えたり、デジタルスチルカメラを本機から取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

## バッテリーを充電する

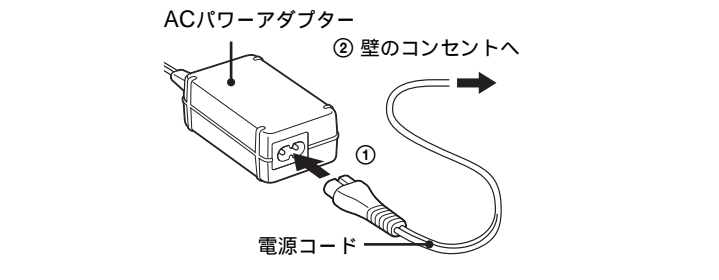
- デジタルスチルカメラのバッテリー / “メモリースティック”カバーを開ける
- デジタルスチルカメラにバッテリーを入れて、バッテリー / “メモリースティック”カバーを閉める
- ACパワーアダプター (AC-LM5) のケーブルを本機のDC IN端子につなぐ



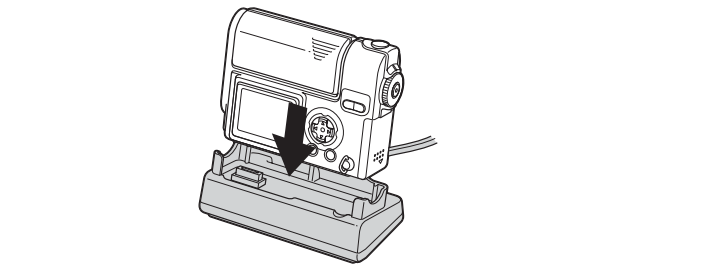
DCプラグの▲マークを上にしてつなぎます。

- ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

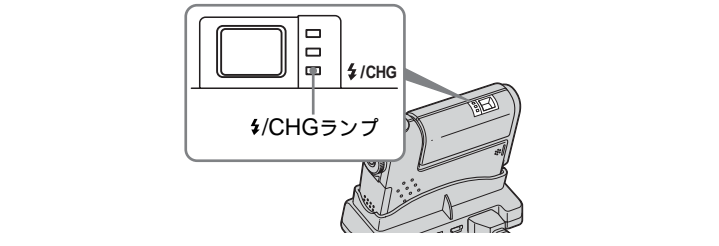
### 4 電源コードをACパワーアダプターと壁のコンセントにつなぐ



### 5 デジタルスチルカメラを本機に取り付ける



図の向きにデジタルスチルカメラを取り付けてください。充電が始まり、デジタルスチルカメラの $\frac{1}{4}$ /CHGランプが点灯します。

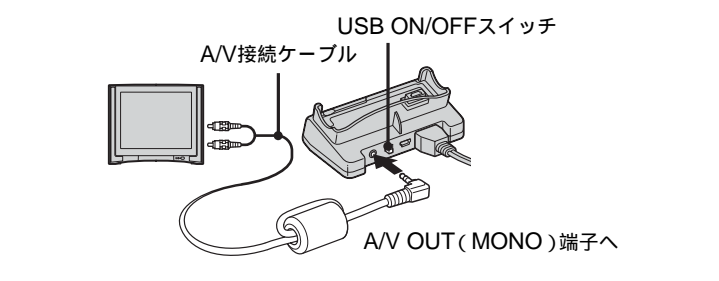


充電が終わるとデジタルスチルカメラの $\frac{1}{4}$ /CHGランプが消えます。

- バッテリーを充電するときは、必ずデジタルスチルカメラの電源を切ってください。
- デジタルスチルカメラを奥まで確実に入れてください。

## テレビで見る

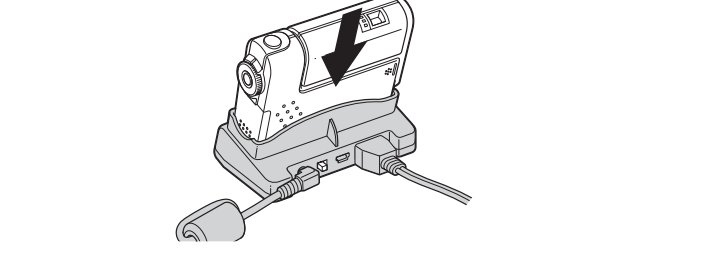
- 付属のA/V接続ケーブルで本機のA/V OUT (MONO) 端子と、テレビの映像 / 音声入力端子を接続する



テレビの音声入力端子がステレオタイプの場合はA/V接続ケーブルの音声プラグ (黒) を左音声端子に接続してください。

- USBケーブルが接続されている場合は、本機のUSB ON/OFFスイッチを「OFF」にしてください。
- デジタルスチルカメラとテレビの電源を切ってからA/V接続ケーブルをつないでください。

### 2 デジタルスチルカメラを本機に取り付ける



図の向きに取り付けてください。

- デジタルスチルカメラを奥まで確実に入れてください。

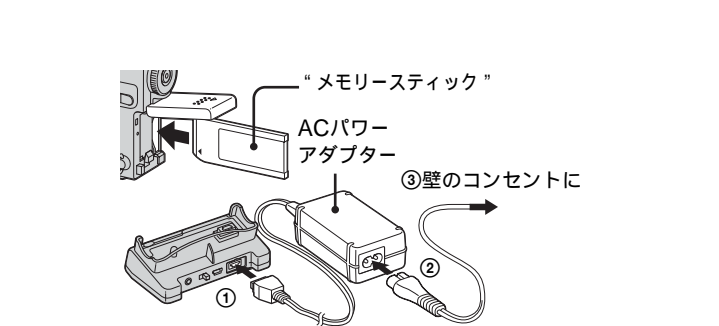
- テレビの電源を入れ、テレビ / ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする

- デジタルスチルカメラのMODEダイヤルを「 $\square$ 」にして、電源を入れる

- 海外でお使いのときはビデオ出力信号の切り換えが必要な場合もあります。
- 詳細はデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

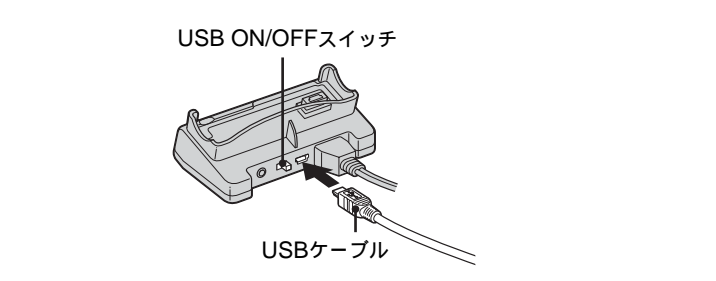
## デジタルスチルカメラとパソコンを本機とUSBケーブルで接続する

- パソコンの電源を入れる
- デジタルスチルカメラに画像を記録した“メモリースティック”を入れる  
本機とACパワーアダプターをつなぎ、壁のコンセントにつなぐ

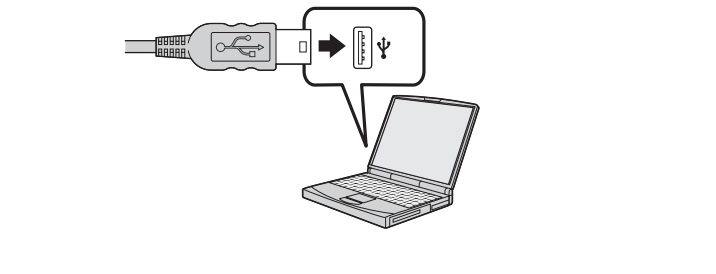


- “メモリースティック”については、デジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

- USB ON/OFFスイッチが「ON」になっているか確認して、付属のUSBケーブルを本機の $\frac{1}{4}$ (USB)端子につなぐ

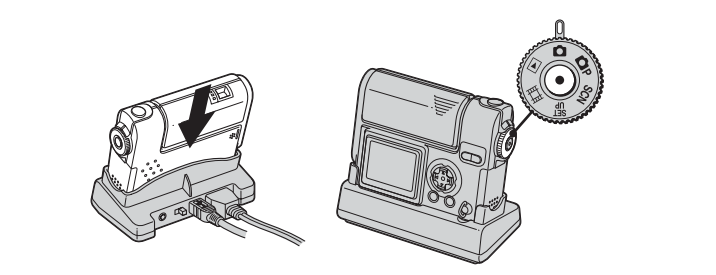


### 4 USBケーブルをパソコンのUSB端子につなぐ



- デスクトップ型パソコンをお使いの場合は、パソコン後面のUSB端子をご使用ください。

- 本機にデジタルスチルカメラを取り付けてから、デジタルスチルカメラの電源を入れる



- デジタルスチルカメラを奥まで確実に入れてください。

- デジタルスチルカメラの液晶画面に「USBモード 標準」と表示される  
初回接続時のみ、パソコンがデジタルスチルカメラを認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

- USB接続中は、本機のUSB ON/OFFスイッチを切り換えたり、デジタルスチルカメラを本機から取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

## Q&A

このQ&Aは、USBクレードルを初めてお使いになる方から、特に多く寄せられたご質問を集めて、ご紹介するものです。

Q. USBクレードルを使用して充電する方法とACパワーアダプターのみで充電する方法とどちらがよいですか？  
A. どちらの方法でもよいです。

Q. USBクレードルに取り付けたデジタルスチルカメラをモニターカメラとして使えますか？  
A. USBクレードルのA/V OUT端子に接続してお使いいただけます。

Q. 充電するとき、USBクレードルのUSB ON/OFFスイッチは「ON」または「OFF」のどちらがよいですか？  
A. 「ON」または「OFF」のどちらでもよいです。

Q. A/V OUT端子で出力して、画像などをテレビで見る場合、USBクレードルのUSB ON/OFFスイッチは「ON」または「OFF」のどちらがよいですか？  
A. USBケーブルが接続されている場合は、USB ON/OFFスイッチを「OFF」にしてください。

Q. USBクレードルを使用して充電する場合、ACパワーアダプターを使用する必要はありますか？  
A. 必要です。

Q. デジタルスチルカメラを使用しないとき、USBクレードルに取り付けたままで大丈夫ですか？  
A. 大丈夫です。ただしデジタルスチルカメラをUSBクレードルに取り付けて充電する場合は、下記をご覧ください。

Q. 普段、デジタルスチルカメラを使用しないときは、常にUSBクレードルに取り付けて充電していても大丈夫ですか？  
A. 大丈夫です。ただし、バッテリーを長期間効率良くご使用いただくために、デジタルスチルカメラを長時間ご使用にならない場合は、バッテリーを使い切ってから取りはずしてください。取りはずしたバッテリーは湿度の低い涼しい場所で保管することをおすすめします。詳しくは、DSC-F77Aの取扱説明書の「バッテリーの保管方法について」をご確認ください。

## 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に作動しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

症状	原因 / 処置
バッテリーが充電できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>デジタルスチルカメラの電源が入っている。 → デジタルスチルカメラの電源を切る。</li><li>接続が正しくない。 → 正しく接続する。</li></ul>
バッテリー充電中、デジタルスチルカメラの $\frac{1}{4}$ /CHGランプが点灯していない。	<ul style="list-style-type: none"><li>ACパワーアダプターがはずれている。 → きちんと接続し直す。</li><li>デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。</li><li>バッテリーが正しく取り付けられていない。 → バッテリーを正しく取り付ける。</li><li>充電が完了している。</li></ul>
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。</li><li>ACパワーアダプターがはずれている。 → きちんと接続し直す。</li></ul>
電源が途中で切れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。</li></ul>
テレビに画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>接続が正しくない。 → 接続を確認する。</li></ul>

デジタルスチルカメラに「USBモード 標準」または「USB標準 PTP」と表示される。

- デジタルスチルカメラがパソコンと通信している。  
→ USB接続を終了して、本機のUSB ON/OFFスイッチを「OFF」にする。
- デジタルスチルカメラがパソコンに認識されない。
  - 付属のUSBケーブルを使っていない。  
→ 付属のUSBケーブルを使う。
  - USBケーブルがしっかり差し込まれていない。  
→ 一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、「USBモード」になっていることを確認する。
- USB ON/OFFスイッチが「OFF」になっている。  
→ 「ON」にする。
- デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。  
→ 正しく取り付ける。
- パソコンのUSB端子に本機の他に機器が接続されている。  
→ キーボード / マウス以外は取りはずす。

操作を受け付けない。

- デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。  
→ 正しく取り付ける。